



下水道だより

人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取

No.011 平成29年1月発行

鳥取市下水道等事業経営戦略についての意見を募集

鳥取市下水道等事業経営戦略（仮称）に関する政策コメントを募集します！！

現在、本市の下水道等事業を将来にわたり安定的に運営していくための中長期的な経営の基本計画として、平成29年度から38年度までを計画期間とする「鳥取市下水道等事業経営戦略（仮称）」の策定を進めています。

このたび、鳥取市下水道等事業運営審議会のご意見を踏まえたこの経営戦略（案）について、市民の皆様のご意見を次のとおり募集します。



資料 公開

・本庁舎・駅南庁舎（各総合案内）、下水道庁舎（下水道企画課）、各総合支所産業建設課、本市公式ホームページ

募集 期間

・平成29年1月10日（火）～30日（月）必着

提出 方法

・様式は問いません。住所、氏名、電話番号を明記のうえ、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参のいずれかで問合せ先まで提出してください。※持参の場合は、下水道庁舎（下水道企画課、下水道経営課）または各総合支所産業建設課の窓口まで。

問合せ 先

・鳥取市下水道企画課 総務係
（〒680-0902鳥取市秋里903番地）
TEL:0857-20-3315/FAX:0857-20-3318
Email:ges-plan@city.tottori.lg.jp

経営戦略の
主な取り組みは裏面を
ご覧ください

《 経営戦略における主な取り組み 》

浸水対策

市街化区域において大雨の時にどの箇所ですでに浸水が発生しているのかをシミュレーションにより把握し、想定被害の規模に応じた浸水対策を推進します。併せて、現に浸水被害が発生している箇所については、側溝や雨水管渠等の整備による浸水区域の解消に取組みます。



地震対策

下水道管と処理施設の耐震化を推進します。また、マンホールトイレの整備に取組みます。



道路陥没の未然防止

これまでで実施してきた管内カメラ調査を増やし、危険箇所の早期把握と予防保全に取組みます。



未普及地域の解消

未普及地域の下水道整備を進めます。また、公共下水道以外の区域では、効率的な整備手法を選択して事業を行います。



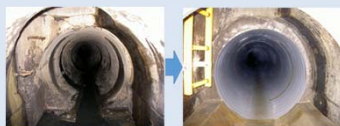
公共用水域の水質改善

下水道整備が進んでも、接続していただかなければ、川などはきれいになりません。説明会や戸別訪問により接続率向上に取組みます。



下水道施設の長寿命化と処理施設の統廃合

新規整備から維持管理、延命化、改築更新までを一体的に捉えた施設管理としてのストックマネジメントを実施します。また、施設の統廃合により効率的な汚水処理をはかり、維持管理コストの縮減に取組みます。



収益性・財源の確保

- ・財政運営の柱として「安定性」、「効率性」、「健全性」を重点的に強化するため、経営の指標を設定し、目標達成を通して財源確保と経営基盤の強化に取組みます。
- ・使用料徴収率の向上について、使用者が納付しやすい環境を拡充し、滞納者への督促、個別訪問並びに滞納処分に取り組めます。

人材育成・広報啓発活動

- ・将来にわたる安定的な運営のため、各種研修への積極的な参加を通じて、職員一人一人の資質と専門性の向上に取組みます。
- ・計画的、かつ、より効果的な広報に取組みます。



平成28年9月定例会市議会において

《平成27年度下水道等事業の決算》が認定されました。

財政状況

収益的収支（税抜）の収入は、下水道等使用料28億6,967万円（2.4%減）を含む営業収益が62億1,314万円（16.4%増）で、営業外収益を合わせた総額では103億6,402万円（6.3%増）となりました。

一方、費用は、減価償却費55億7,298万円を含む営業費用が77億8,608万円（0.16%増）、営業外費用と特別損失を合わせた総額では93億7,676万円（1.05%減）となりました。

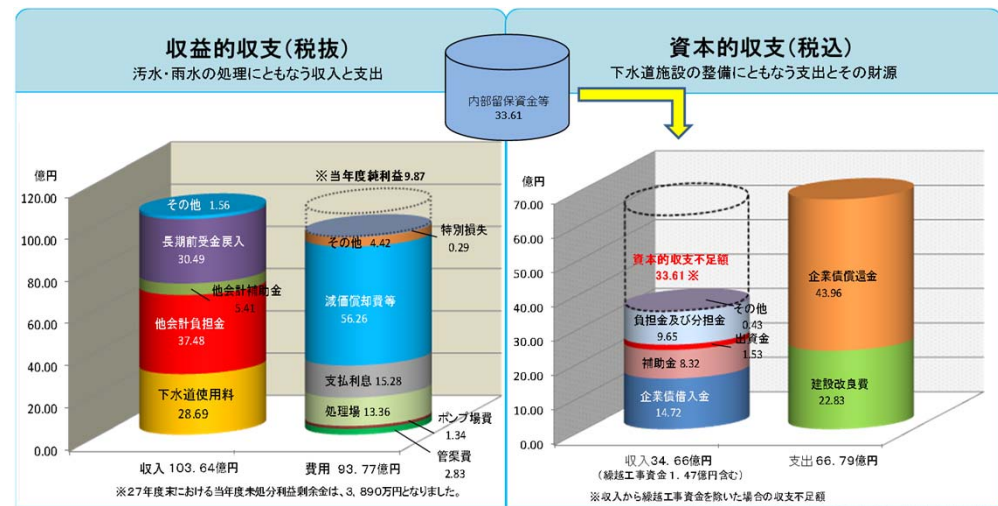
これにより、27年度当期純利益は9億8,725万円となりました。

また、前年度までの累積欠損金9億4,834万円は解消され、3,891万円の繰越利益剰余金を計上することとなりました。

次に、資本的収支（税込）の収入は、前年度分の繰越工事資金1.47億円を含め、総額34億6,555万円（0.8%増）となりました。

一方、支出の総額は、66億7,906万円（7.8%増）となりました。

資本的収入額（前年度繰越工事資金1.47億円を除く）が資本的支出額に不足する額33億6,059万円は、内部留保資金等で補てんしました。（ ）内の割合は、対前年度比。



経営状況

27年度末の水洗化人口は、前年度比0.3%増の172,168人となり、水洗化率は、95.9%と前年度に比べ0.2%減少しました。

有収水量は269千m3減の19,697千m3となり、有収率は、84.0%と前年度に比べ1.7%増加しました。

人口減少、節水対策の向上等により有収水量の減少が見られる一方で、施設の維持管理に係る費用は労務単価や燃料費等の上昇により増加傾向にあります。また、今後、法定耐用年数を経過した施設が増加していくことから、これらに係る更新費の確保が大きな課題となっています。

こうしたことから、下水道等事業では、引き続き水洗化率や使用料徴収率の向上、維持管理経費の抑制に取り組むとともに、中長期的な視点に立った経営戦略を策定するなど将来投資の合理化と経営の健全化に努めてまいります。

注記) 端処理により、収入費用の総額と内訳の合計が一致しない場合があります。

実施事業

○下水道等使用料について、鳥取市下水道等事業運営審議会からの使用料体系の見直しに関する答申を受け、2月定例会市議会において関係条例が改正されました。

新料金の改正は、平成28年7月から適用し、10月請求分から賦課しています。

○管渠工事では未普及解消下水道事業により未普及地区での公共下水道の整備を進めました。

○ポンプ場工事では、浸水対策として宮長ポンプ場のポンプ施設を増設しました。

○処理場工事では、施設の長寿命化対策として秋里処理場の焼却炉の改築等を実施するとともに、汚泥脱水機設備を増設しました。

用語解説

(収益的収支)

他会計負担金及び補助金：主に雨水処理に充てる経費等で、市の一般会計が負担するもの。

減価償却費：複数年にわたり使用できる施設等を新設又は購入した場合に、当該事業年度にすべて費用化せず、定められた耐用年数に応じて年度ごとに配分される費用のこと。

(資本的収支)

企業債：施設の新設や更新のために外部から借入れたお金のこと。

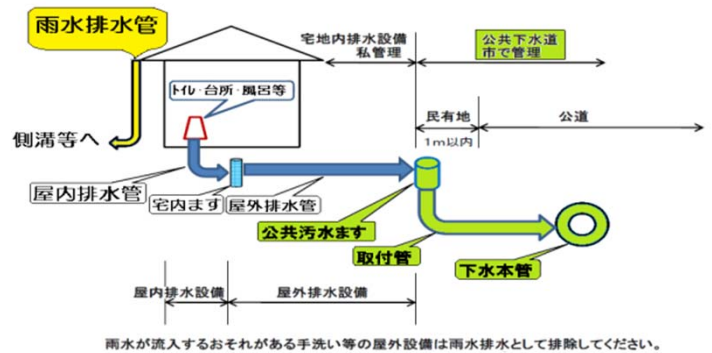
建設改良費：施設の新設や改良にかかる費用のこと。

(その他)

有収水量：処理場で処理された汚水量のうち、料金収入の対象となった汚水量のこと。有収率(%)

$$= \text{年間総有収水量}(\text{m}^3) \div \text{年間総処理水量}(\text{雨水除く})(\text{m}^3)$$

下水道を正しく使って、エコライフしよう!
 食べ残しや廃油を減らせば、家庭もエコになります。



青色部分
 宅内の排水管などの不
 具合は、
 排水設備指定工事店
 (宅内の工事を施工し
 た業者)にお問い合わせ
 ください。

緑色部分
 公共ます、公道上のマ
 ンホールなどの不具合
 は、
 鳥取市下水道管理室
 電話0857-20-3311
 までお願いします。